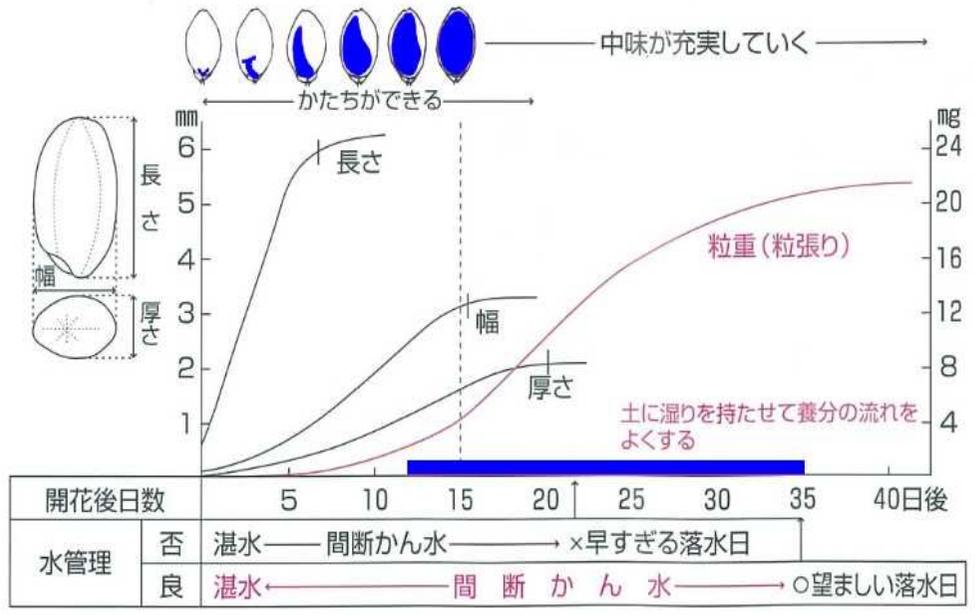


水稲収穫のポイント ～適切な管理で米作りの仕上げを～

香川県西讃農業改良普及センター (R6.9)

1. 水管理

- 早期落水は品質・収量低下の原因になります。収穫7～5日前までを目安に**間断灌水**を続けましょう。
- 登熟向上のため、収穫作業に影響を及ぼさない程度まで落水を遅らせて、田面を黒湿りに保ちましょう。



2. 収穫適期

- 早刈りは青未熟米発生の原因となり、逆に刈り遅れると胴割米・茶米発生の原因となります。下記を参考に適期収穫を目指しましょう。
- 収穫適期見極め方
 1. ほ場内の生育が中庸な数か所から、株内で最も背の高い穂を抜き取る。
 2. 穂から外した籾を白い紙の上に広げ、不稔籾を取り除く。
 3. 全籾に占める黄化籾の割合を調べ、**85～90%**であれば収穫適期。

穂から外した籾を白い紙に広げる

早刈り 黄変率:70%程度	収穫適期 黄変率:85%程度	刈り遅れ 黄変率:95%以上

3. 雑草対策

- 玄米に混入したクサネムの種子は、色彩選別機等で取り除きにくく、種子の混入による落等の原因になります。
- 発生している場合は、クサネムが種子を形成する前に**早めに抜き取り**ましょう。



水稲作付けの維持・拡大にご協力を！

- 近年、香川県の主食用米の作付面積は**年間300～500ha規模で減少**しており、全国と比べても減少率は著しいものとなっています。
- 県産米のブランド力向上や水田の多面的機能、農村環境維持のため、令和7年産では水稲作付けの維持・拡大をお願いします。

